指定管理業務モニタリング評価結果

令和6年月事務局本部業務課

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道、沼田川水道用水供給水道、沼田川工業用水道	
指定管理者		株式会社水みらい広島 3期目 R5.4.1~R10.3.31	
評価期間		令和6年度(令和6年4月 ~ 令和6年6月)	
総評		A	S:優良(要求水準以上の取り組みを実施している項目がある) A:良好(各項目の要求水準をすべて満たしている) B:要改善(各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある)
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	0	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	0	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	0	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	0	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	0	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。
	6 料金徴収・ 窓口対応	0	要求水準書に基づいた適正な料金徴収、窓口対応が実施されている。
	7 その他	0	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組		 ・八幡川及び沼田川において、河川から取水した原水中の珪藻類の増加により、 浄水能力の低下傾向がみられたが、注入薬品の切り替えや、洗浄頻度の増により、ろ過能力の維持に努めている。 ・水質異常や薬品注入機の不具合の発生に備え、本郷事業所で薬品の備蓄購入や 西部事業所で予備機の試運転を実施するなど、迅速な水質維持管理対応の体制 を整備している。 	
提案項目への 取組		 ・広域運転監視システムの導入に合わせ、各事業所において、施設の点検データや資材在庫状況の整理によるクラウド化を行っており、標準プラットフォームの稼動準備を進めている。 ・個人情報の漏洩対策として、新規PCの導入に併せた専用ソフトの導入により、個人情報を含むフォルダーへのアクセス権限を制限し、漏洩対策を強化しており、定期的にPCの管理及びウイルスチェックを行うことで、徹底した個人情報保護の管理を継続して努めている。 	
その他 課題,要望事項等		・引き続き、関係機関等と連携し、適切な水質管理に努めること。・引き続き、標準プラットフォームの稼働に向け、データのクラウド化を進め、水道サービスの信頼性向上に努めること。・委託・修繕業務において、発注工事により仕様書の体裁が異なっているため、仕様書の様式を定め、適正な業務執行の確保に努めること。	

【評価基準】

- ◎:要求水準以上の取り組みを実施している
- ○:要求水準をすべて満たしている
- ×:要求水準を満たしていない項目がある